

# 北海道・東北ネットワーク研究会 北海道どさん子ラウンド

平成29年  
11月4日(土)  
札幌ユビキタス  
協創広場U-cala  
36名参加

例年は初夏に開催していたどさん子ラウンドですが、今年度は、秋の装いが深まった11月に開催し、遠くは広島、東京から、36名の参加がありました。

【挨拶：国立教育政策研究所 高橋修一氏】  
【情報提供：北海道教育大学 古川善夫氏】



高橋氏から、研修に先立ち本研究会の趣旨や研修の内容等について説明がありました。志を持った先生方が立場を超えて勉強し合う会の趣旨を確認しました。

その後古川氏から学習指導要領の成果と課題を踏まえた体づくり運動について情報提供をいただきました。パワーポイントをもとに改訂された特徴的な内容を端的に説明していただきました。

【説明：国立教育政策研究所 高橋修一氏】

「新しい学習指導要領の考え方～中央教育審議会における議論から改訂そして実施へ～」というテーマで説明をしていただきました。

- ・「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」という学びの姿が明確になったこと
- ・「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育むこと
- ・すべての教科に共通した内容について理解を深めるため、解説だけでなく総則編も活用すること

など、新学習指導要領改訂のポイントを詳しく説明していただき、理解を深めることができました。大変有意義な時間でした。



【ワークショップ】

「新学習指導要領に対応した体育・保健体育授業の改善」をテーマにワークショップを行いました。学習指導要領から指導内容を吟味し、バランスよく指導を行うことを目的とした簡易単元構造図の作成を行いました。

カリキュラムマネジメントの観点から、単元全体で効果的な指導を行うためのことに単元構造図が有効であると感じました。



【参加者から】

- ・技能中心で構成された体育実践からの脱却が多く現場で進んでいったらと思います。
- ・初めて参加しました。新学習指導要領について自分なりに勉強していましたが、改めて再確認できたことやワークショップで様々な学校の先生方と交流することで新たに学ぶことがたくさんあり、とても有意義な時間になりました。
- ・子どもにどんな力を身に付けさせたいのか、簡易単元構造図を通して具体的に考えることができました。
- ・ワークショップにもう少し時間的ゆとりがほしかったです。

※会場について内田洋行株式会社様の多大な御協力をいただきました。また、会場確保については北海道教育大学小出准教授に御尽力いただきました。来年度も情報交換会を含めて、大いに語り合ひましょう！